

市町村対抗
県民体育大会

町の選手たちが大奮闘!



陸奥新報社提供

三沢市を主会場に、「第64回市町村対抗青森県民体育大会」が8月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)の4日間にあたって開催されました。

「はばたけ県民! 郷土の和」をスローガンに、わが町の選手たちもがんばりました。陸上では、女子100メートルAで小笠原絵梨香さんが優勝するなど、町が4種目を制覇し団体優勝となりました。ほかには相撲も優勝、ウエイトリフティングが3位、テニスがベスト4進出など、町村の部総合では30町村中7位の好成績となりました。

惜しくも上位進出とはなりませんでしたが、卓球、柔道、水泳、ゲートボール、剣道、バドミントン、ソフトテニスにも出場。選手の奮闘と汗が光りました。

町のためにがんばってくれた選手の皆さん、ありがとうございました。



町に新たな名産が誕生しました

内湯療護園では、8月から「津軽のなたね油」と「津軽のひまわり油」をセットにしたギフトの販売を始めました。

施設利用者が携わる仕事を増やしたいということから、なたねやひまわりから搾油する施設・設備を、日本財団の助成を受けて整備し、商品化にこぎ着けました。搾油する施設は、五所川原市の「ひだまり工房」です。



今回発売のセットは2,500円となっており、内湯療護園・きりん館・第二うちがた療護園・ひだまり工房で買い求めることができます。サラダなどのドレッシングオイルとして使うのがオススメとのこと。自分で使うのはもちろん、ご贈答用にいかがですか。

観光客が思わず足を止めたくなくなるような見事なひまわり。これを撮影したのは、内湯駐在所向かいの畑で、薄市の婦人会の方が植え、管理しています。沿道に花を添えたこのひまわりは、ひだまり工房で搾油され、ひまわり油に変わります。

